

I 千葉県の暴力行為の現状

1 平成28年度千葉県公立小・中・高等学校の暴力行為の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は3,736件で、前年度の3,518件より218件増加。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は1,539件で、前年度の1,443件より96件増加している。

中学校における発生件数は2,018件で、前年度の1,861件より157件増加している。

高等学校における発生件数は179件で、前年度の214件より35件減少している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は127件で、前年度の145件より18件減少している。中学校における発生件数は257件で、前年度の155件より102件増加している。高等学校における発生件数は7件で、前年度の12件より5件減少している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は1,285件で、前年度の1,131件より154件増加している。中学校における発生件数は1,190件で、前年度の1,164件より26件増加している。高等学校における発生件数は119件で、前年度の152件より33件減少している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は11件で、前年度の24件より13件減少している。中学校における発生件数は76件で、前年度の55件より21件増加している。高等学校における発生件数は10件で、前年度の7件より3件増加している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は116件で、前年度の143件より27件減少している。中学校における発生件数は495件で、前年度の487件より8件増加している。高等学校における発生件数は43件で、前年度の43件と同数である。

学校種・形態別暴力行為発生件数（前年度比較・千葉県公立学校）

暴力行為 の形態	小学校		中学校		高等学校		合計	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
対教師暴力	145	127	155	257	12	7	312	391
生徒間暴力	1,131	1,285	1,164	1,190	152	119	2,447	2,594
対人暴力	24	11	55	76	7	10	86	97
器物破損	143	116	487	495	43	43	673	654
合計	1,443	1,539	1,861	2,018	214	179	3,518	3,736

2 暴力行為の発生件数の推移

(1) 形態・学校種別の推移

校種別 形態・年度		小学校 (件)		中学校 (件)		高等学校 (件)		合計 (件)			増減
		学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	計	
対教師 暴力	24年度	80	0	211	1	20	0	311	1	312	△ 50
	25年度	98	0	271	2	14	0	383	2	385	73
	26年度	225	0	235	3	17	0	477	3	480	95
	27年度	145	0	154	1	12	0	311	1	312	△168
	28年度	127	0	257	0	7	0	391	0	391	79
生徒間 暴力	24年度	353	23	1,048	148	152	22	1,553	193	1,746	12
	25年度	535	33	1,212	138	123	21	1,870	192	2,062	316
	26年度	668	20	1,210	123	139	12	2,017	155	2,172	110
	27年度	1,077	54	1,102	62	143	9	2,322	125	2,447	275
	28年度	1,238	47	1,148	42	103	16	2,489	105	2,594	147
対人 暴力	24年度	2	2	8	65	0	8	10	75	85	△ 6
	25年度	19	2	44	66	3	13	66	81	147	62
	26年度	7	8	12	41	1	3	20	52	72	△ 75
	27年度	19	5	37	18	6	1	62	24	86	14
	28年度	9	2	38	38	3	7	50	47	97	11
器物 破損	24年度	86	—	575	—	83	—	744	—	744	△152
	25年度	101	—	673	—	63	—	837	—	837	93
	26年度	134	—	661	—	38	—	833	—	833	△ 4
	27年度	143	—	487	—	43	—	673	—	673	△160
	28年度	116	—	495	—	43	—	654	—	654	△ 19
合計	24年度	521	25	1,842	214	255	30	2,618	269	2,887	△196
	25年度	753	35	2,200	206	203	34	3,156	275	3,431	544
	26年度	1,034	28	2,118	167	195	15	3,347	210	3,557	126
	27年度	1,384	59	1,780	81	204	10	3,368	150	3,518	△ 39
	28年度	1,490	49	1,838	80	156	23	3,584	152	3,736	218

(2) 全国との比較の推移 (暴力行為発生件数)

学校種 区分	小学校		中学校		高等学校		合計	
	千葉県	全国	千葉県	全国	千葉県	全国	千葉県	全国
24年度	546	8,296	2,056	38,218	285	9,322	2,887	55,836
25年度	788	10,896	2,406	40,246	237	8,203	3,431	59,345
26年度	1,062	11,472	2,285	35,683	210	7,091	3,557	54,246
27年度	1,443	17,078	1,861	33,073	214	6,655	3,518	56,806
28年度	1,539	22,841	2,018	30,148	179	6,455	3,736	59,444
増加率	2.82倍	2.75倍	0.98倍	0.79倍	0.63倍	0.69倍	1.29倍	1.06倍

※全国のデータは、国公立学校における数値を示したものの。

※増加率・・・平成23年度を基準とした平成27年度の発生件数を倍率で示したものの。

3 暴力行為の現状分析と施策の方針

- (1) 平成28年度千葉県公立小・中・高等学校の暴力行為発生件数（合計）は平成18年度以降最高となっている。
- (2) 小学校では、対教師暴力は減少したものの生徒間暴力、対人暴力の増加率が高くなっており、暴力行為の低年齢化が顕著である。特に暴力行為発生件数の合計においては、3年生、4年生で前年比の増加が著しく、この時期の児童に対して、発達段階に応じた具体的な指導を講じる必要がある。
- (3) 中学校1年で、暴力行為は急激に増加する。いじめや不登校の問題同様、暴力行為についても重点的な指導が必要である。
- (4) 生徒間暴力発生件数について、過去5年間の学校内と学校外の比率の推移は以下のとおりである。

【小学校】				
平成24年度	校内	353件	校外	23件 = 15.3 : 1
平成28年度	校内	1,238件	校外	47件 = 26.3 : 1
【中学校】				
平成24年度	校内	1,048件	校外	148件 = 7.0 : 1
平成28年度	校内	1,148件	校外	42件 = 27.3 : 1
【高等学校】				
平成24年度	校内	152件	校外	22件 = 6.9 : 1
平成28年度	校内	103件	校外	16件 = 6.4 : 1

全ての学校種において、生徒間暴力が、学校内で発生する割合が高くなっている。特に小学校では、発生件数の増加が著しく、以下の点が懸念される。

ア 暴力行為に対する教員等の抑止力が効きにくくなっている。

イ 児童の意識において、学校内での暴力行為に対する精神的な抵抗が少なくなっている。

ウ 校内の暴力行為等について学校生活を送る上で、不安を感じている児童が増加している。

暴力行為に対する小学校での対応を再確認、再構築する必要がある。

- (5) 上記(4)の分析について、校内での暴力行為が増加しているのに、校外での暴力行為が減少しているのは、暴力行為を認知できていないのではないかとの見方も考えられる。

校外での暴力行為は、発見が困難であり、重症化しやすい傾向にあるため、暴力行為の正確な認知及び学校種間での情報交換や、関係機関との連携を強化する必要がある。

- (6) 中学校における暴力行為は、学校内での対人暴力は増加しているものの、その他の項目においては減少傾向にある。また、高等学校においては横ばいの状態である。中学生・高校生による暴力行為は、重大な結果を招きかねず、深刻ないじめやトラブルにつながる可能性も大きいいため、引き続き学校内での生徒の様子を注意深く見守るなどする必要がある。

中学校、高等学校ともに暴力という犯罪行為について、加害者としての法的責任（刑事、民事）について法教育の手法で指導したり、被害者の生の声を聞かせる指導をしたりするなど、現実を直視させる取組が必要である。

- (7) 増加する暴力行為に対処するため、コミュニケーション能力の育成や豊かな人間関係づくり推進事業をさらに進める必要がある。
- (8) 特に暴力行為の傾向が強い児童生徒を対象とした、サポートチームにより組織的に対応することが必要である。